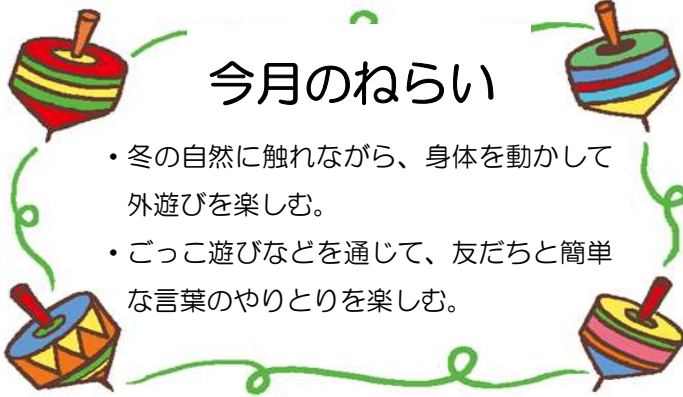




# 1月 ほしぐみだより

令和5年1月4日(水)  
尚徳福祉会 井荻保育園

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。子どもたちの元気な声と笑顔と共に新しい年がスタートしました。寒さも一段と厳しくなってきたかのように感じます。お日様が出てくると、その温もりに感謝し、子どもたちは、温かい場所を選んで遊んでいます。たくさんの成長を見せてくれた、ほし組の子どもたち。園庭では、異年齢で関わる姿が見られるようになってきました。0歳児のお友だちがいると頭を撫でてあげる優しい姿が見られます。幼児組さんは、ほし組さんのお手伝いをしてくれたり、優しくしてくれるので甘える姿も見られます。言葉もどんどん上手になり、子どもたち同士で会話する姿も増えてきました。ほし組での生活も残り三ヶ月となりました。たくさんの様ざまな経験を一緒に積み重ねながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。お正月あけで生活リズムが崩れやすい時期でもありますので、規則正しい生活を心がけていきたいと思います。



## 今月のねらい

- ・冬の自然に触れながら、身体を動かして外遊びを楽しむ。
- ・ごっこ遊びなどを通じて、友だちと簡単な言葉のやりとりを楽しむ。

## 【懇談会のお知らせ】

2月18日(土) 予定しております。よろしくお祈りいたします。時間は後日お知らせいたします。

## 【ほしぐみのちょこっとエピソード】

『働く車の絵本を読んで』と持って来た〇〇ちゃん。次第にたくさんのお友だちが集まって来ました。しばらく読み進めていくと大きな声で『あっ、ドボロー』と。すると、みんなも『どれ、どれ?』『あっ、ほんとだ、ドボローさんだ!』と何故か大盛り上がり。

子『ドボローが来たら大変だ。アンパンマンのラムネを持って行っちゃう。早く帰って〜』と可愛くお祈りしていました。ドボローが悪いことをする人という認識があることにも驚きました。子どもたちの想像力も豊かになり、お話もずいぶん上手になりました。会話がどんどん広がっています。



## 『みんなと一緒に』

ソフトブロックを使って、道路に見立てて遊びはじめました。しばらくすると、『ジャンプをしよう?』ということになりました。自信のある子からジャンプをし始め、その様子をじっと見ていた子どもたち。真似をして、恐る恐る始めました。最初は上手いかなかったものの次第に上手に跳べるようになると、それは大きな自信となり、どんどんやる気が出てきて、子どもたちは最高の笑顔になります。今まで出来なかった事ができるようになる場面に立ち会える事に保育者は喜びを感じ、子どもたちの成長を感じる瞬間でもあります。

## 「冬の防寒について」

・この時期は本当に寒い時期です。保育園では上着を着て外に出ます。が、あまり厚手のものだと動きにくく、また活発に動き回ると汗ばんでしまい風邪をひいてしまいます。

『脱ぎ着がしやすいもの』『薄手の動きやすいもの』をお願い致します。体温調節がしやすいものをお願いします。また寒さゆえ、ポケットに手を入れると転んだ時に手が出ず、思いがけず怪我をすることがありますので、気をつけて過ごしていきたいと思います。